

事業所名

児童多機能型通所サービスとして

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

9月

20日

法人（事業所）理念		障害や発達段階に合わせた個別療育及び社会性を育む集団療育を基本とし、お一人お一人に寄り添い、きめ細やかな対応を心がけ子供達と一緒に成長させてもらうことを根底とする。		
支援方針		利用児童さんの5年後10年後の基盤作りのお手伝いだと意識し、生活動作やプログラムの中で困り事を共有しつつ、到達点を「自分の道を選ぶ力のある」「自発的な発言ができる」を目標とした支援方法を構築していく。		
営業時間		平日 13時00分から 18時00分まで 土曜・休校日 9時00分から 18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	日々の生活で手洗い・うがい・消毒の癖付けをし、自身の健康管理ができるように促す。生活動作訓練をゲーム形式にし、遊びの中で動作を体得してもらう。		
	運動・感覚	有酸素運動を行い、個々の児童の発達に応じた運動の時間を設ける。		
	認知・行動	ビジョントレーニングや制作の時間を通じて、物の認知や知覚・視覚から行動に移せるように自己能力を養っていく。		
	言語 コミュニケーション	プログラム内容をグループごとに話し合い、言葉で伝え合うスキルを重ねてもらう。		
	人間関係 社会性	遊び・ゲームの中で、手をつなぐ・触れる・バトンをつなぐ目的を入れ、輪に入り他者を認め受け入れる工夫をする。		
家族支援		個別支援計画書作成時面談に加え、学校・家庭での困り事を共有し、事業所内でのアプローチ方法もノート等で報告し、ご家族様の悩み等都度話し合う時間を設ける。	移行支援	学校やデイの利用が難しくなっている時期には、通級や訪問支援などの勧め、就労に向けて多職種連携研修などで情報を集め提供できるようにしている。
地域支援・地域連携		地域の方との交流ができるよう、近隣福祉センターや学校など密に連絡を取る体制を整えている。	職員の質の向上	自治体や行政からの研修に積極的参加の声掛けと独自の研修会を定期的に行っている。
主な行事等		長期休み中の遠足、親子参加型ハロウィンパーティ、毎週月・土は食育に特化したおやつ作りとクッキング、利用曜日関係なく提供する茶道の時間等		